

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月26日		記入者		連絡先 756-8410
部 名	保健福祉部	課 名	陽光園	課長名	高橋 哲
事務事業名	療育相談室事業				
予算上の事務事業名	陽光園運営事業(療育相談室分)				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11320	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度
施 策 名	第2施策 療育体制の整備と保育・教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	児童福祉法, 同施行令, 同施行規則, 児童福祉施設最低基準 相模原市療育センター条例, 同施行規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	サービス提供				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何の目的で行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>市内在住の心身に障害のある子ども及び障害が懸念される子どもの発達相談を通して、子どもを取り巻く家庭・社会環境を整備しながら、保護者の育児を支え、子どもの療育に必要な指導及び助言を行う。 児童デイサービス事業を実施し自立に向けての支援、保護者支援及び小集団参加の機会を提供する。 地域療育等支援事業事務局を担当し、障害児者の地域生活を支援する。</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>市内在住の心身に障害のある子ども及び障害が懸念される子どもとその保護者、家族。地域生活支援を希望する知的障害者及び重症心身障害児及び家族。</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。</p> <p>1, 初回相談 239件 2, 医療相談(小児神経科・整形外科・小児科・精神科) 174人 3, 経過相談 349人 4, 保育グループ支援参加 1269人 心理グループ支援参加 850人 5, 心理個別支援 961人 6, 保育園幼稚園巡回訪問 738人 他 ・リハビリテーション事業 (理学療法・作業療法・言語療法) ・施設在籍児バースデイチェック (第一・第二陽光園在籍児に対して年1回の発達チェックを実施する) ・地域療育等支援事業(知的障害児者・重症心身障害児を中心に地域生活のコーディネートを) ・保育支援検討会開催 ・交流保育の実施 ・摂食グループ指導開催 ・地域生活支援事業の実施(幼稚園教諭研修実施)</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	各市事業担当課は様々であるが、他市においても同様の事業は実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	2,892	2,795	2,858	3,910	4,935
一般財源	745	2,634	2,630	2,684	3,709
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	2,147	161	228	1,226	1,226
人件費の合計	96,120	96,120	136,850	136,850	136,850
事業コスト合計	99,012	98,915	139,708	140,760	141,785
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	医療相談			対象名称 と単位	相談者数 人
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	0	0	0
対象数	157	150	174	0	0
単位あたり経費(円)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	初回相談	人	指標式と指標の説明	初めて陽光園に相談に来た数	初回相談数×12月
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	195.0	200.0	230.0		
目標	190.0	200.0	210.0	230.0	240.0
目標達成度（%）	102.6	100.0	109.5		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	巡回訪問	相談児数	人	指標式と指標の説明	幼稚園・保育園への施設支援
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	562.0	686.0	738.0		
目標	580.0	600.0	620.0	670.0	700.0
目標達成度（%）	96.9	114.3	119.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		数量的には対応できた数は増えているが、その増加に対応する人的な配置がなく、電話予約から初回相談まで1か月以上の待機が出ているため早急な対応が必要と考える。 地域療育等支援事業については市民団体からの問い合わせが多くなっており、非常勤1名配置では対応が難しい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
①初回相談の方法を再検討する。 ②市民団体からの要望の多い地域療育等支援事業に1名の常勤配置を求める。			①平成18年10月にむけて、地域生活支援事業者の申請及び職員配置。 ②病院の理学療法士の業務範囲と陽光園の理学療法士の業務範囲の違い。 ③初回相談を早く対応するための心理担当の不足。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		効果的な事業実施方法を検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			